

政治・国際

経済・雇用

社会・スポーツ

科学・環境

文化・エンタメ

Journalism

法と経済 A J

本 雑誌 映画 音楽 美術 舞台 テレビ 芸能ニュース 漫画・アニメ 韓流 神保町の匠



論座 > 文化・エンタメ > 記事一覧 > 記事

文化・エンタメ

スプラッシュ・マウンテンで問題視された『南部の唄』はまた公開すべきだ

「過去の問題作」に対処する米ディズニー

赤尾千波 富山大学人文学部人文学科教授(アメリカ文学・文化専攻)

スプラッシュ・マウンテン | ディズニー | 南部の唄 | 黒人差別 | 2023年04月12日 BLM



ティアナの成長とニューオリンズの黒人文化

2020年6月、ディズニーは、全米のスプラッシュ・マウンテンを廃止する代わりにディズニー初の黒人プリンセス、ティアナが活躍するアニメ映画『プリンセスと魔法のキス』(2009)をテーマとする新アトラクション「ティアナのバイユー・アドベンチャー」を、2024年から順次、国内でオープンしていくと発表した。

日本ではあまり知られていないが、ディズニーの今回のアクション——スプラッシュ・マウンテン廃止や新アトラクションの提案は、BLMやChange.org(インターネット上の署名活動)で浮上した一般からの声が「大きな波」となり、ディズニーに選択を迫った結果とも言える。つまり、「スプラッシュ・マウンテンを、不愉快に感じる人もいる」という点に重きを置いての廃止であったし、『プリンセス.....』をテーマ作品にしたのも、一般のリクエストを重視しての選択であった。

新アトラクションでは、大人の女性に成長したティアナがバイユー(湿地帯)で冒険する。従来、冒険型のアトラクションでは冒険者といえば白人で、非白人は「野蛮人」のステレオタイプとして登場するのが定番であったことを思うと、画期的といえる。背景となるニューオリンズの黒人文化についても綿密なリサーチを行い、細部に至るまでリアルな表象と音楽を堪能できるという。ディズニーがそれまでの、一部の人々(白人)だけが観て楽しい「作られた世

編集部から

「論座アーカイブ」開設のお知らせ
2023年07月21日

論座の更新を終了いたしました
サイトは7月まで閲覧できます
2023年04月26日

コメント投稿サービス終了のお知らせ
2023年04月21日

最新ランキング 週間ランキング

1 渡辺麻友の電撃引退に納得。彼女は「アイドルのプロ」だけじゃなかった

2 死後の世界をめぐる仏教と人々の“ズレ”~人は死んだらどこへ行くのか?

3 新潟親子遭難死は救えた命かもしれない

4 手記・上高地でクマに襲われた私の経験

5 在NY、新型コロナ感染体験記——「軽症」だったが初めて死を意識した

6 [1] 冷戦下、断絶と疎外の社会に変革を告げた~「サウンド・オブ・サイレンス」

7 事故原発に首相、作業員「怒ってるよ、菅直人、何しに?」

8 ダムに沈んだ村に最後まで住んでいた一

界」を脱し、真の「多様性を学ぶ機会」を提供する意気込みをアピールしていることは確かだ。

日本への新アトラクション上陸とその意味



開業40周年を記念する装飾が施された東京ディズニーランド。問題視されてきたディズニーの過去の作品にどう対応していくのか=2023年4月10日、千葉県浦安市

今のところ、スプラッシュ・マウンテンの廃止も、新アトラクション導入についても、日本のディズニーランド(運営会社オリエンタルランド)からの発表はない。アメリカと違ってスプラッシュ・マウンテンへの批判が起こっていない日本としては、新・旧アトラクション併設もありうる。

翻って、アメリカでは公式には観ることができない『南部の唄』も、日本では中古ソフトが販売されている。つまり、もしこのまま新アトラクションが導入されると、「元凶となった」過去の映画、物議を醸して廃止された旧アトラクション、そして刷新を施された新アトラクション、この3つを並べて比較検証することができる。新・旧アトラクションを見比べて初めて、ディズニーの変遷を辿りながら、人種差別に取り組む人々と社会の動きも実感できるのではないか。アトラクションは廃止されれば痕跡もなくなり、それまでである。日本においては、まさかの「けがの功名」となるかもしれない。アメリカではもう不可能なのだから。 **論**

先頭 前へ 1 2 3 次へ 末尾

次の記事


関連記事



政治・国際
と亀裂

「奴隷解放記念日」を国の祝日にした米国の希望

人の女性の物語

9  民主党政権が失敗に終わった本当の理由～悪いのは「マニフェスト」ではない

10  AIが感情と意識を持つことは可能か

もっと見る



社会・スポーツ **ジョージ・フロイド氏殺害から1年に思う～黒人の命が重くなる日は来るのか**

田村明子 2021年05月28日



文化・エンタメ **浜田雅功「黒塗りメイク」論争を再考する——「ブラックフェイス」は、“忌まわしき過去の象徴”**

赤尾千波 2018年02月06日



文化・エンタメ **続・浜田雅功「黒塗りメイク」論争を再考する**

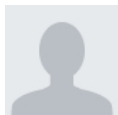
赤尾千波 2018年02月07日



文化・エンタメ **ディズニー映画『ムーラン』はクレジットの謝辞より作品全体が問題**

古賀太 2020年09月18日

筆者



赤尾千波 (あかお・ちなみ) 富山大学人文学部人文学科教授(アメリカ文学・文化専攻)

津田塾大学学芸学部英文学科卒。筑波大学大学院修士課程地域研究研究科、インディアナ大学大学院を経て、筑波大学大学院博士課程文芸・言語研究科途中退学。岐阜大学教育学部助手を経て、現職。専門はアメリカ文学・文化。著書に『改訂増補版 アメリカ映画に見る黒人ステレオタイプ——『国民の創生』から『ブラックパンサー』まで』(富山大学出版会)など。本書関連資料：[富山大学出版会HP](#)、[研究室HP](#)

※プロフィールは、論座に執筆した当時のものです

[ページトップへ戻る](#)

朝日新聞社から

会社案内
CSR報告書
採用情報
記事や写真利用案内
新聞広告ガイド

デジタル事業から

デジタルサービス一覧
携帯サービス
Astand(コンテンツ販売)
法人向け配信
写真の購入案内
記事データベース案内
朝日ID

グループ企業

朝日新聞出版の本
朝日新聞出版(AERA dot.)
朝日インタラクティブ
朝日学生新聞社

各国語サイト (News in various languages)

The Asahi Shimbun Asia&Japan Watch (ENGLISH)
Asahi Weekly (ENGLISH/JAPANESE)
ハフポスト日本版 (JAPANESE)
CNN.co.jp (JAPANESE)

[サイトマップ](#) | [サイトポリシー](#) | [利用規約](#) | [特定商取引](#) | [web広告ガイド](#) | [リンク](#) | [個人情報](#) | [著作権](#) | [お問い合わせ](#)

掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.